

## 自ら学ぶ教職員 活動報告書

グループ名 斐太高校若手勉強会

テーマ 学問の本質から教科指導力を磨く

### 取組のポイント・成果

#### 取組の内容とポイント

駿台教育探究セミナーの映像講座（英語、数学、国語）を受講し、普段の授業内で大学受験に対応する力を生徒に身につけさせるための指導力の育成をポイントとして行った。そのために、受講者それぞれが映像講座を通して学習したことを他教科とも交流し、共通する部分や他教科にも生かせる部分を共有した。

#### 成果

・国語では現代文について今後予測困難な時代を生きていくうえで必要な力を養う教科であるという前提のもと、構造的に文章を捉える力の養成について考えることができた。文中の対比や同値表現にしたがって文章の構成を図式化しながら読むトレーニングを授業内で継続的に行うことで文章を構造的に捉え、主張や主題を読み取る力を伸ばすことができる。

・数学では教師の基本姿勢として①定義を教える②定義にしたがうことを教える③拡張する姿勢を身につける、これら3点が重要である。具体的な問題演習を通して、3点のことを深掘することによってこれまで以上に核心を突いた問題演習をするための知識を得ることができた。また、問題文から得られる情報から状況をどれだけ理解できるかということが重要であり、その力を生徒につけさせるためのヒントを得ることができた。

・英語では教師の役割は「コーチ」であり、生徒の自主性も大切であるが、間違った方向に行くことを放置するのではなく、軌道修正をしていくことが大切な役割である。したがって、日頃から生徒の学習習慣に目を向けつつ、正しい学習方法や解法を授業内で実践するための方法を学ぶことができた。

### 今後の課題

今回得たことを実際の授業で中長期的に実践することで、生徒に還元する方法を模索するとともに、その方法を如何に教科内で共有し、学校の財産として残していくかを検討する。